



令和4年の病害虫の発生と防除

農林水産省消費・安全局 植物防疫課防疫対策室
農産安全管理課農薬対策室

令和5年の病害虫防除シーズンに向けて、令和4年の天候経過、主要病害虫の発生概況および植物防疫事業概況等を取りまとめたので、今後の病害虫防除対策の検討資料として紹介する。また、令和4年に都道府県から公表された病害虫発生予察情報（警報、注意報、特殊報）について、別表2に取りまとめたので、本文での病害虫発生状況の記述と併せ参照されたい。

I 天候経過の状況（気象庁報道発表資料より抜粋）

1 令和3年冬（令和3年12月～令和4年2月）の特徴

（1）東・西日本では12月下旬以降に強い寒気の影響を受けたため、気温が低くなった。

（2）北日本日本海側では、12月下旬以降の低気圧の通過や冬型の気圧配置の強まりのため、降水量がかなり多く、降雪量は多くなった。1月下旬から2月にかけて前線や低気圧の影響を受けやすかった沖縄・奄美でも降水量は多くなった。一方、西日本では高気圧に覆われやすく、冬を通して低気圧の影響を受けにくかったことから、降水量はかなり少なくなった。

（3）日照時間は、冬の間、断続的に冬型の気圧配置が解消する時期があった北日本と、低気圧の影響を受けにくかった西日本と東日本太平洋側で多くなった。寒気や低気圧の影響を受けやすかった沖縄・奄美では少なくなった。

2 令和4年春（令和4年3月～令和4年5月）の特徴

（1）北日本では期間を通して、東日本以西では3～4月にかけて、暖かい空気が流れ込みやすかったため、気温は全国的に高く、特に、北・西日本ではかなり高くなった。

（2）沖縄・奄美では5月に前線や湿った空気の影響を受けやすく、降水量はかなり多くなった。

（3）北日本を中心に4～5月にかけて高気圧に覆われやすく、日照時間は北・東日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、西日本日本海側で多くなった。

3 令和4年夏（令和4年6月～令和4年8月）の特徴

（1）東・西日本と沖縄・奄美では夏を通して暖かい空気に覆われやすかったため気温がかなり高く、西日本では1946年の統計開始以降、1位タイの高温を記録した。

（2）8月を中心に繰り返し低気圧や前線の影響を受けた北日本の日本海側と太平洋側では、降水量がかなり多くなった。

（3）九州から関東甲信地方の梅雨明けは、7月中旬を中心に上空の寒気や前線、低気圧の影響で曇りや雨の日が多かったため、7月下旬となった。一方、東北北部・南部と北陸地方では、8月上・中旬も前線や湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かったため梅雨明けが特定できなかった。

4 令和4年秋（令和4年9月～令和4年10月）の特徴

（1）気温については、9月は暖かい空気に覆われやすく、北・東・西日本で高くなった。10月は上旬の後半と中旬の終わり、下旬の中頃に強い寒気が流れ込んだため、東日本で低くなった。また、全国的に気温の変動が大きくなった。

（2）降水量については、9月は台風の影響を受けやすかったため、沖縄・奄美でかなり多くなった。10月はまとまった雨がなく、高気圧に覆われやすかったため、東日本日本海側と東日本太平洋側で雨が少なかった一方、台風や熱帯低気圧、前線の影響で湿った空気が流れ込みやすかったため、沖縄・奄美で多くなった。

（3）日照時間については、9月は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、北日本日本海側でかなり多くなった。10月は高気圧に覆われやすかったため、西日本日本海側と西日本太平洋側で多かった一方、台風や熱帯低気圧、前線の影響で湿った空気が流れ込みやすかったため、沖縄・奄美で少なくなった。

Occurrence of Pests and Diseases and their Control in 2022 in Japan. By Plant Protection Division, Food Safety and Consumer Affairs Bureau, MAFF

（キーワード：令和4年、病害虫、発生動向、農薬、出荷状況）